

HSVΝ

葉山災害ボランティアネットワーク

2025年度総会 議案書

日 時 2025年6月15日（日）午後1時30分より

場 所 葉山町福祉文化会館 大会議室

総会議案

- | | |
|-------|----------------------------------|
| 第1号議案 | 2024年度活動報告及び
同収支会計報告並びに会計監査報告 |
| 第2号議案 | 2025年度活動計画 |
| 第3号議案 | 規約の一部改定 |
| 第4号議案 | 2025年度予算 |
| 第5号議案 | 役員改選 |

【第1号議案】2024年度活動報告及び収支会計報告並びに会計監査報告（案）

2024年度活動報告

葉山災害ボランティアネットワーク（以下「HSVN」と略す）の2024年度の活動を振り返ると、新代表のもと新しい体制となり、従来からの基本方針を引き継ぎながらも新たな取り組みを進めた一年でした。

地域の防災力を高めることは、災害時の被害を最小限に抑え、早期復旧につなげることができます。このため、災害ボランティアセンターの設置・運営に係る活動はもちろん、地域団体や住民だけでなく行政や社会福祉協議会との関係性を強め、地域防災力の向上につながるさまざまな活動にも挑戦した一年でした。

また、地域での連携を深める活動により、HSVNの認知度を高めることもできたと思います。

以下、活動の基本重点事項に照らし、活動の状況を報告します。

〈2024年度活動計画 基本重点事項〉

1. 災害ボランティアセンターの仕組みづくりを推進する
2. 関係機関や地域の団体との連携を強化し、認識の共有を図る
3. 広報活動を通じて認知促進をはかり、新会員の獲得に努める
4. 被災地支援活動を継続して行う
5. 防災教育に関する取り組みを継承・発展させる
6. 組織体制を見直し、体質強化に努める

〈2024年度の活動内容〉

1. 「災害ボランティアセンターの仕組みづくりを推進する」について

① 葉山災害ボランティアセンター設置・運営に係る訓練を3回実施しました。

●HSVN 情報伝達訓練（11月16～17日 オンライン）

発災後の安否確認や災害ボランティアセンター準備参集連絡など、メールでのやり取りを主とした連絡訓練を実施しました。（回答会員数11名）

●HSVN 情報伝達訓練 第2回（12月13～15日 オンライン）

前回の応答数が予想をかなり下回ったことと、メールでのやり取りが煩雑だったため、Googleフォームを用いた内容に変更するなどして再実施しました。（回答会員数21名）

●葉山災害ボランティアセンター設置・運営訓練 [本部編]（12月22日 葉山町社会福祉協議会）

葉山町社会福祉協議会と共同で同会2階会議室に災害ボランティアセンター運営本部を設営し、kintone（キントーン：サイボウズ社が提供するクラウド型の業務アプリ構築プラットフォーム）を用いた災害ボランティアの募集・活動依頼メール配信までを行い、手順や本部レイアウトの検証などを実施しました。（参加者15名うち会員9名）

- ② 会員の一部が災害ボランティアセンターの運営に生かすべく**ICT学習等の研修**に参加し学習しています。(別添資料「ICT学習・活用ワークショップ等参加状況」参照)
- ③ **葉山災害ボランティアセンターのポータルサイト** (<https://chiiki-bosai.jp/hp/hsvc>) は平時版・発災時版とも更新を継続。また、新たな情報として「能登半島地震災害ボランティアセンター状況」を掲載し、アクセス数30,000回となりました。
- ④ 葉山町社会福祉協議会と協働で改訂を進めている「**葉山災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル Vol.4**」は、2024年2月末にまとめた暫定版をもとにkintoneでの検証訓練を経て本年度秋に完成を予定していましたが、しかし、その後の試験運用・検証等に時間がかかっているため、完成・公開は2025年度6月となりました。

2. 「関係機関や地域の団体との連携を強化し、認識の共有を図る」について

- ① 社会福祉協議会・行政・民間防災団体による「**葉山災害ボランティアセンター連携会議**」が4月23日に実施され、葉山町社会福祉協議会 4名・葉山町防災安全課 2名・同福祉課 1名、HSVN 2名・葉山町赤十字奉仕団 1名・日本防災士会神奈川県支部葉山 1名が出席し、葉山町の災害対応や災害ボランティアセンター設置・運営に係る課題やその対策等について意見交換を行いました。
- ② 「**一色小学校避難所運営委員会**」「**長柄小学校・南郷中学校避難所運営委員会**」に防災関係機関としてオブザーバー出席。うち「長柄小学校・南郷中学校避難所運営委員会」では、校区の住民に向けた避難所周知のリーフレット制作にも協力しました。また、一色小学校避難所開設訓練のための設営支援(10月19日)、長柄小学校避難所開設訓練(11月16日)に参加しました。
- ③ 葉山・逗子・横須賀・三浦の4団体による「**三浦半島災害ボランティアネットワーク連絡会**」は、HSVNが幹事として9月14日に逗子市民交流センターにて開催(会員6名参加)。近況報告及び意見交換が行われ、相互協力による活動につながる場になるように決議され、各団体代表によるLINEグループも作られました。3月23日にはそなえるネットワークみうら主催により、三浦海岸のちえるSeaみうら(南下浦コミュニティセンター)で開催(会員3名参加)。共同でInstagramアカウントを運用し、情報発信していくこと等が決議されました。
- ④ **KSVN(神奈川県災害ボランティアネットワーク)**に、当会から吉田見岳幹事を引き続き派遣し、情報共有に努めました。
- ⑤ 地域住民と交流できるイベントを主催しました。
 - 「**100万人の線香花火ナイト**」(8月11日 森戸海岸 参加者約150名)
東日本大震災をはじめ災害でなくなられた方への追悼と記憶を伝える「100万人の線香花火ナイト」は毎年実施していますが、2024年は「南海トラフ地震臨時情報」が発表されていたため、避難経路を含め災害発生時の対応を事前に案内してからの実施となりました。当日集まった募金(12,105円)は日本赤十字社を通じ令和6年能登半島地震災害義援金として寄付させていただきました。
 - 「**葉山語り場**」(10月6日 元町会館大会議室 参加者16名うち会員10名)
災害が起きる前にできることをテーマに開催。防災カードゲーム「このつぎなにながおきるかな?」を利用し、互いに学び合いました。

⑥ 地域の防災関連イベントに出展しました。

●**葉山町総合防災訓練「防災フェア」**(10月20日 一色小学校)

葉山町社会福祉協議会と共同のテントで出展。HSVNや災害ボランティアセンター、被災地支援などの説明や資機材の展示などを行いました。

●**長柄・長柄下町内会「福祉防災フェス」**(12月1日 長運寺)

運営支援および救命体験の指導を行い約60名の参加者を数えました。

●**堀内互近助プラットフォーム「ほりうち地域交流会 収穫祭」**(10月30日 亀戸橋 SEE THE SUN)

サプライズで実施した防災訓練で、シェイクアウト訓練や会場の災害リスク、会場からの避難路などについての説明のほか、HSVNや災害ボランティアセンターの説明なども行いました。

●**葉山町町制100周年イベント「まちぐるみfesta」**(3月9日 葉山町役場周辺)

土のう作り体験や吸水土のうの展示、トランシーバ操作体験、HSVNの広報を行いました。土のう作り体験には40名以上、トランシーバ操作体験には25名の参加がありました。

●**葉山まちづくり協会「まちfes.葉山」**(3月29～30日 葉山町福祉文化会館)

HSVNの活動紹介パネルおよび災害ボランティア活動時の装備などを展示しました。

⑦ 自主防災組織の防災訓練等への参加や支援を通じ、町内会・自治会との関係を強化しました。

●**あずま町内会 防災訓練**(6月30日 堀内会館)

●**木の下町内会 防災ボランティア会議**(9月20日 木の下会館)

●**木の下町内会 防災訓練**(10月27日 木の下なかよし広場)

●**向原町内会 防災マンホールトイレ設置訓練**(11月10日 ソテツ公園)

●**真名瀬・森戸・芝崎町内会・真名瀬こども会 合同防災訓練**(2月15日 真名瀬会館)

3. 「広報活動を通じて認知促進をはかり、新会員の獲得に努める」について

① 活動状況について、WEBサイトのほかに、FacebookやInstagramで継続して発信しました。初の試みとして、前述の葉山町総合防災訓練「防災フェア」では当日の体験コーナーなどを紹介した映像をInstagramとFacebookで配信。平均300回程度の再生回数でしたが、土のう作り体験のみ1,300回を超えるアクセスとなりました。ただし、イベントがない期間には発信が散発的なものにとどまり、今後の課題となっています。

② 湘南ビーチFM「HOT SHONAN!」に出演(8月7日)。「100万人の線香花火ナイト」の開催告知とHSVNの広報を行いました。

③ かながわ311ネットワークの協力で制作した冊子「その時、3日間を生き延びる！葉山版」は、能登半島地震および豪雨、山林火災等の影響のためか、引き合いが多く、HSVNの広報ツールとしても有効なため3,000部増刷しました。

- ④ また、葉山町南郷中学校区学校運営協議会「コミュカフェ（学校・PTA・地域の活動団体・行政および社会福祉協議会職員等による交流の集まり）」に出席し、HSVN・災害ボランティアセンターについての説明や活動紹介を行うとともに、災害対策についての相談なども受けました。その他、前項2にあるイベント等でHSVNおよび災害ボランティアセンターの説明や会員募集の呼びかけなどを行い、認知促進に努めました。結果として、2024年度の新規入会者は3名（正会員2名・賛助会員1名）となりました。

4. 「被災地支援活動を継続して行う」について

- ① 令和6年能登半島地震により被災した石川県志賀町への支援として運行された「能登支援ボランティアバス」に会員が参加し、被災家屋内、周辺の被災物の片付け・清掃、土砂の撤去等を行いました。（6月22日活動 参加1名・7月27日活動 参加1名）
- ② 2024年8月30日台風10号の豪雨により被災した神奈川県平塚市からKSVNを通して支援要請があり、会員1名が被災地支援活動に参加。土砂崩れにより流入した土砂の撤去、破壊したカーポートの解体撤去、流入した樹木の除去等を行いました。（9月8日活動 参加1名）

5. 「防災教育に関する取り組みを継承・発展させる」について

- ① 項目2⑥の「ほりうち地域交流会」以外にも、10月8日には金崎ひさ会員のオンラインサークル「美しい葉山とワタシ」、11月2日には長柄町内会役員会にて防災講話を行いました。
- ② HSVNが協力団体として支援している「てんでんこ逗葉」が、「ウイテマテ（水辺のセルフレスキュー）」（6月1日実施）・「募金活動&線香花火ナイト」（8月11日実施）・「防災キャンプ」（10月4～5日実施）・「防災センター遠足」（12月7日実施）の4つのイベントを実施しました。

6. 「組織体制を見直し、体質強化に努める」について

- ① 冒頭でも述べた通り、代表交代や役員体制の変更などにより、会の活動を活性化させることができましたと思います。
- ② 地域連携の強化や地域防災力の向上につながる活動の結果でもありますが、3名の新規会員を迎えることができました。

組織状況報告

2024年度末 会員数47名（うち正会員37名、賛助会員10名）2名入会・6名退会

HSVN設立以来、正会員として会の活動に参加し、役員も務めていただいた松平克巳さんが昨年12月に永眠されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

※会員によるその他の活動記録については、別添書類をご覧ください。

2024年度収支報告

科目	2024年度予算(円)	2024年度決算(円)	摘要
I 収入の部			
1) 会費	50,000	45,000	会費@1,000 × 44名 (うち1名2025年度分)
2) 助成金	100,000	100,000	年末たすけあい運動助成金
3) 参加費	0	0	
4) 寄付金	20,000	58,100	
5) 繰越金	0	0	前年度より繰越
6) 預金利息	0	150	
収入合計	170,000	203,250	
II 支出の部			
1 事業費			
1) 訓練研修 準備・実施費	25,000	0	訓練・研修諸費用
2) 訓練研修 通信・印刷費	5,000	0	はがき・切手・郵送代など
3) 訓練研修 講師・会場費	15,000	0	会場使用料など
4) 訓練研修 参加・移動費	10,000	0	
5) 連携プロジェクト関係費	0	0	
6) 災害支援活動派遣関係費	0	0	
7) 防災教育活動費	20,000	0	てんでんご逗葉助成など
8) 広報PR活動費	35,000	35,417	広報活動に係る費用
9) 地域活動関係費	10,000	43,341	町内連携にかかる費用 (線香花火ナイトなど)
事業費計	120,000	78,758	
2 管理費			
1) 加盟会費	13,000	13,000	KSVN・社協
2) 保険料	1,000	0	イベント保険
管理費計	14,000	13,000	
3 事務費			
1) 会議費	10,000	8,416	
2) 交通費	0	0	交通費
3) 通信費	13,000	7,896	はがき・切手・郵送代など
4) 消耗品費	10,000	1,792	印刷用紙・事務用品など
5) 機材購入費	0	0	
6) 雑費	3,000	0	諸雑費
事務費計	36,000	18,104	
4 緊急支援準備金積立	0	20,000	
繰越抜き支出合計	170,000	129,862	
5 繰越・繰入金	0	73,388	2025年度へ繰越 (2025年度会費1名分含む)
支出合計	170,000	203,250	
収支	0	0	

緊急支援活動準備金積立の部


I 収入の部			
1) 一般会計より積立	0	20,000	一般会計より繰り込み
2) 繰越金	197,987	197,987	前年度繰越金
収入合計	197,987	217,987	
II 支出の部			
1) 緊急支援活動費	197,987	11,580	緊急支援活動
2) 繰越金	0	206,407	次年度へ繰越
支出合計	197,987	217,987	
	0	0	


2024年度収支会計監査報告

2025年5月6日

会計監査報告書

葉山災害ボランティアネットワーク
代表 狩野友伸 殿

会計監査 松元美恵 

会計監査 吉田 健太郎 

葉山災害ボランティアネットワークの2024年度会計監査を下記のとおり実施しましたので報告します。

記

監査実施日
2025年5月6日

監査書類
2024年度収支会計報告書 および 関係書類監査結果、上記書類について、厳正に監査を行った結果、いずれも正確かつ適正に取り扱われていることを認めます。

以上

2024年度のご寄付について

2024年度は、「(株)三留モーター商会」様、「葉山住宅協会」様、「(有)キリタ」様、「まつざわ歯科医院」様、その他個人の方々からご支援をいただきました。

ご厚意に深く感謝申し上げますとともに、会の活動資金として有意義に利用させていただきましたことをご報告します。

【第2号議案】2025年度活動計画（案）

2024年は能登半島地震をはじめ、日本各地で災害が多発しました。気候変動の影響もあり、今後の災害は激甚化することが予想されます。

災害発生時、最も重要なのは「初動」ですが、災害経験の少ない地域では準備不足のために初動が遅れ、復旧に大きな影響を与えることがあります。

葉山災害ボランティアネットワークは災害ボランティアセンターの設置・運営を目的としていますが、葉山町は地形や交通の特性上、外部からの支援が遅れる可能性があります。こうした中で災害への初動対応を考えると、近隣地域との連携はもちろん、地域住民自身による備えが不可欠です。

そのためには、災害ボランティアセンターの設置・運営の仕組み作りに加えて、地域の被害を減らし地域内での支援力を育むなど、地域防災力を高めるための活動にも力を入れていきたいと思えます。

そこで、2025年度は、以下の4つの重点事項を中心に活動します。

〈2025年度活動計画 基本重点事項〉

1. 実効性ある災害ボランティアセンターの準備
2. 地域防災力を高めるための支援
3. 認知促進と新会員の獲得
4. その他（被災地支援活動の継続・組織体制の見直しと体質強化）

〈基本重点事項〉

1. 実効性ある災害ボランティアセンターの準備

- ① 葉山町社会福祉協議会と連携し、葉山災害ボランティアセンター設置・運営訓練を実施し、既存の仕組みや手順の検証と見直しを進め、より実効性のあるセンター運営を目指します。
- ② 葉山町社会福祉協議会・葉山町・町内防災団体で構成する葉山災害ボランティアセンター連携会議を通じ、発災後の初動期～応急期～復旧期と変化するフェーズでの役割の明確化、課題の解決を目指します。
- ③ 避難所運営委員会などを通じた町内会や避難所との連携を強化し、発災直後から被災状況や支援ニーズをスムーズに収集できる仕組みを構築します。
- ④ 逗子・横須賀・三浦の災害ボランティアネットワークによる三浦半島災害ボランティアネットワーク連絡会を通じて、広域連携に向けた関係を強化します。

2. 地域防災力を高めるための支援

- ① 自主防災組織や地域活動団体等の防災訓練の支援や防災講話などを通じ、地域防災力の向上を目指します。また、会員だけでなく地域住民が参加できる講習や地域イベントなどで、防災に役立つ知識・技術等を広めます。
- ② 災害時の支援を担える人材育成のための災害ボランティア養成研修などを実施し、地域の自助・共助の力を高めます。
- ③ 避難所運営委員会への出席等を通じ、町内会・自治会との関係性を強化し、上記①につなげます。
- ④ 行政・地域住民との連携を強化し、相互の防災意識のギャップをなくす支援を行い、災害に強い地域づくりを進めます。

3. 認知促進と新会員の獲得

- ① HSVN紹介のためのリーフレット等の広報ツールを新たに制作・配布します。
- ② 地域イベントなどへの精力的な参加を行うとともに、WEB・SNSを利用した継続的・日常的な情報発信に努めます。
- ③ 一般向けの体験イベント・講演会・ワークショップなども企画し実践していきます。
- ④ 入会することの魅力（防災知識とスキルの向上・地域との連携強化・災害支援活動の助成・地域社会との協働や貢献など）を高め、十分に伝えていき、新会員の獲得に努めます。

4. その他

- ① 被災地支援活動について、災害ボランティアの育成や支援活動に参加する会員への助成を行い、継続した活動を行います。
- ② 執行部の世代交代等による組織の活性化を進め、体質強化に努めます。また、世代交代を通じて、組織の持続可能性を高め、将来にわたって活動を継続できる体制を目指します。

これらの活動を通じて、葉山町が災害に強い地域となる一助を担うよう努めていきます。

【第3号議案】規約の一部改定（案）

第2号議案「2025年度活動計画(案)」で示した地域防災力の向上にかかる活動を進めるにあたり、現在の規約では活動の根拠が見当たらないので、規約の（目的）第2条に「さらに、**地域住民の自助・共助の力を高め、地域防災力の向上を目指す。**」の一文を追加し、以下のとおり改定することを提案します。

（目的）

第2条 本会は、葉山町、葉山町社会福祉協議会、防災や地域の関係団体等と協力し、災害時におけるボランティア活動のノウハウの蓄積と人材の育成を図り、ネットワーク化するとともに、被災地の支援活動を行い、もって災害発生時に円滑で効率的なボランティア活動の調整・運営を行うことを目的とする。さらに、地域住民の自助・共助の力を高め、地域防災力の向上を目指す。

※災害ボランティアセンターの設置・運営および災害ボランティアコーディネーター育成に対し、葉山町社会福祉協議会から助成金を得ていることもあり、事前に中野事務局長に確認。主たる目的として災害ボランティアセンター運営があるので、そこに加えるのは問題がないとのこと。むしろ、会員を増やすためには活動の幅を広げてもらうことは望ましいとの回答を得ています。

また、会の世代交代を進めるためにもこの数年は毎年役員改選を臨時に行なっていることと、役員改選は総会での議決をもって承認されることから、役員任期と期間を見直し、規約の（役員任期）第10条を以下の通り改定することを提案します。

（役員任期）

第10条 役員任期は概ね1年とし、毎年の総会から翌年の総会までの期間とする。

ただし、再任を妨げない。

2 任期途中の欠員補充による役員任期は前任者の残任期間とする。

【第4号議案】2025年度予算（案）

活動計画案の重点事項を実現するため、事業費の「1）訓練研修 準備・実施費」「8）広報PR活動費」「9）地域活動関係費」、事務費の「6）雑費」を増額。2024年度の収支を踏まえ、事業費の「4）訓練研修 参加・移動費」「7）防災教育活動費」、事務費の「4）消耗品費」を減額し、前述の増額分を賄います。

以上の概要で下記の2025年度予算を提案します。

また、昨今の物価上昇の中での活動持続を考えると、設立以来12年間変更のなかった会費についての見直しも視野に入れる必要が出てくるかもしれません。

科目	2024年度予算 (円)	2024年度 収支(円)	2025年度 予算案(円)	摘要
I 収入の部				
1) 会費	50,000	44,000	47,000	会費@1,000 × 47名
2) 助成金	100,000	100,000	100,000	年末たすけあい運動助成金
3) 参加費	0	0	0	
4) 寄付金	20,000	58,100	20,000	
5) 繰越金	0	0	72,388	前年度からの繰越金（うち、会費前払分1,000円は「会費」に算入）
6) 預金利息	0	150	0	
収入合計	170,000	202,250	239,388	
II 支出の部				
1 事業費				
1) 訓練研修 準備・実施費	25,000	0	57,000	訓練・研修諸費用
2) 訓練研修 通信・印刷費	5,000	0	5,000	はがき・切手・郵送料など
3) 訓練研修 講師・会場費	15,000	0	15,000	会場使用料など
4) 訓練研修 参加・移動費	10,000	0	0	
5) 連携プロジェクト関係費	0	0	0	
6) 災害支援活動派遣関係費	0	0	0	
7) 防災教育活動費	20,000	0	10,000	てんでんご逗葉助成など
8) 広報PR活動費	35,000	35,417	50,000	広報活動に係る費用
9) 地域活動関係費	10,000	43,341	39,388	町内連携にかかる費用（線香花火ナイトなど）
事業費計	120,000	78,758	176,388	
2 管理費				
1) 加盟会費	13,000	13,000	13,000	KSVN・社協
2) 保険料	1,000	0	1,000	イベント保険
管理費計	14,000	13,000	14,000	
3 事務費				
1) 会議費	10,000	8,416	10,000	
2) 交通費	0	0	0	交通費
3) 通信費	13,000	7,896	12,000	はがき・切手・郵送料など
4) 消耗品費	10,000	1,792	4,000	印刷用紙・事務用品など
5) 機材購入費	0	0	0	
6) 雑費	3,000	0	3,000	諸雑費
事務費計	36,000	18,104	29,000	
4 緊急支援準備金積立	0	20,000	20,000	
繰越抜き支出合計	170,000	129,862	239,388	
5 繰越・繰入金	0	72,388	0	
支出合計	170,000	202,250	239,388	
収支	0	0	0	

緊急支援活動準備金積立の部

I 収入の部				
1) 一般会計より積立	0	20,000	20,000	一般会計より繰り込み
2) 繰越金	197,987	197,987	206,407	前年度繰越金
収入合計	197,987	217,987	226,407	
II 支出の部				
1) 緊急支援活動費	197,987	11,580	226,407	緊急支援活動
2) 繰越金	0	206,407	0	次年度へ繰越
支出合計	197,987	217,987	226,407	
	0	0	0	

【第5号議案】役員改選（案）

2025年度の役員について、以下のように提案します。

役 職	氏 名	備 考
代 表	狩 野 友 伸	留任
副 代 表	柿 本 秀 二	留任
副 代 表	関 志 歩	幹事から役職変更
会 計	西 山 利 廣	留任
会 計 補 佐	窪 田 美 樹	幹事から役職変更
幹 事	雨 宮 正 治	留任
幹 事	岡 村 恭 子	留任
幹 事	星 加 代 子	新任
幹 事	本 多 法 仁	留任
幹 事	吉 田 見 岳	留任
会 計 監 査	松 元 美 恵	留任
会 計 監 査	吉 田 健 太 郎	留任
顧 問	丸 恭 輔	留任
	矢 嶋 恵 子	会計補佐から退任
	千 葉 綾	幹事から退任
	中 村 和 雄	幹事から退任

以上

別添資料①「ICT学習・活用ワークショップ等参加状況」

訓練名	訓練日	当会からの参加人数
かながわ災害情報連絡会「オンラインICT講座」	4月6日	1名
	4月13日	2名(うちスタッフとして1名)
	5月4日	1名
	5月18日	1名
	6月15日	2名(うちスタッフとして1名)
	7月6日	2名(うちスタッフとして1名)
	7月20日	2名
	8月10日	2名
	9月14日	1名
	9月28日	2名(うちスタッフとして1名)
	10月5日	1名
	10月19日	2名(うちスタッフとして1名)
	11月2日	2名
	11月30日	スタッフとして1名
	12月14日	スタッフとして1名
	1月8日	1名
	1月16日	スタッフとして1名
	2月12日	1名
	2月19日	スタッフとして1名
	3月12日	1名
3月22日	2名(うちスタッフとして1名)	
かながわコミュニティカレッジ「災害ボランティアコーディネーター養成講座」	7月13日	スタッフとして1名
	7月20日	スタッフとして1名
	8月17日	4名(うちスタッフとして1名)
	8月24日	4名(うちスタッフとして1名)
災害ボランティアセンターの運営に係るkintone勉強会	8月15日	5名(うちスタッフ1名)
横浜市総合防災訓練「KSVN 災害ボランティア体験コーナー」	9月29日	2名(うちスタッフとして1名)
神奈川県「かながわ・よこはま防災ギャザリング」	10月12日	3名(うちスタッフとして1名)
ビッグレスキューかながわ「災害ボランティアセンター設置運営訓練・KSVN 災害ボランティア体験」	11月23日	3名(うちスタッフとして1名)
横須賀市社協「横須賀市災害ボランティアセンター設置運営訓練」	11月24日	1名
神奈川県、県社協、県共募、KSVN「神奈川県災害救援ボランティア支援センター情報伝達訓練」	12月13日	1名
神奈川県・みんかな「行政・社協・NPOなど多様な主体による被災者支援のための訓練ワークショップ」	12月19日	1名
小田原市社協「小田原市災害ボランティアセンター設置運営訓練」	1月28日	スタッフとして1名
震災対策技術展・横浜「KSVN 災害ボランティア体験訓練」	2月6日	4名(うちスタッフとして1名)
	2月7日	4名(うちスタッフとして1名)

別添資料②「会員が取り組んだ災害対策等に係る講習・研修等」

講習・研修などの名称	訓練日	当会からの参加人数
DMTC(東京大学生産技術研究所附属災害対策トレーニングセンター) 災害対策 基礎プログラム「災害科学論」修了		2名
DMTC 災害対策 専門プログラム「The Flow 47」修了		2名
DMTC「DWM(災害廃棄物マネジメント)+支障物除去研修」	11月28日	1名(スタッフ)
	12月3日	1名(スタッフ)
	12月4日	1名(スタッフ)
DMTC 災害対策 専門プログラム「The EOC(災害対策本部運営トレーニング)」	2月18日	1名
	2月19日	1名
DMTC 災害対策 専門プログラム「THM(住家被害認定調査研修)」	1月22日	1名
DMTC「1995年 阪神・淡路大震災ワークショップとシンポジウム」	1月18日	2名
DMTC-SA(災害対策トレーニングセンター支援会) 「DMTC FOREST & DMS(災害対策士C級試験)運営支援	11月22日	2名(スタッフ)
	11月23日	1名(スタッフ)
DMTC-SA「DMTC-Circle～穴水町のボランティアセンターにおける社会福祉協議会への支援活動から学んだ教訓とは～」	6月15日	2名
DMTC-SA「DMTC Circle～令和6年能登半島地震における中小企業の復旧について考える～」	8月16日	2名
DMTC-SA「DMTC-Circle～2018年の大雪対応から学ぶ道路啓開マネジメントと組織運営～」	9月14日	2名
DMTC-SA「DMTC-Circle～令和6年能登半島地震の災害支援活動で感じたこと～」	7月20日	2名
DMTC-SA「DMTC-Circle～2016年の熊本地震における避難所運営について～」	10月4日	2名
DMTC-SA「DMTC-Circle～2024年能登半島地震における避難所運営について」	11月9日	2名
DMTC-SA「DMTC-Circle～日本郵政グループの防災・減災の取り組み～」	5月25日	2名
DMTC-SA「DMTC 孤立集落ミニサバイバル合宿2024報告会」	8月25日	2名
DMTC-SA「DMTC-Circle～2024年能登半島地震の被災住民による避難所運営から見た必要だったもの～」	1月18日	2名
DMTC-SA「DMTC-Circle～避難所運営の実体験とマニュアルを重ねる～」	2月8日	2名
DMTC-SA「DMTC-Circle～外国人と災害～」	3月1日	2名
災害救援ボランティア推進委員会「災害救援ボランティア講座【気象災害編】」	4月20日	1名
	4月21日	1名
災害救援ボランティア推進委員会「災害救援ボランティア上級講座」	12月21日	1名
SL災害ボランティアネットワーク「SL防災講演会」	4月28日	1名
SL災害ボランティアネットワーク「SL防災センター研修」	5月25日	1名
SL災害ボランティアネットワーク 湘南ネット「防災カードゲーム研修会」	12月13日	1名
葉山町消防本部「応急手当普及員養成講習」	6月3日	5名
	6月17日	5名
	6月24日	5名
日本トイレ研究所「災害時トイレ衛生管理講習【基礎編】」	6月1日	1名
	6月2日	1名
日本トイレ研究所「災害時トイレ衛生管理講習会【計画編】」	12月14日	1名
	12月15日	1名
日本トイレ研究所「トイレラボ勉強会」	3月10日	1名
	9月5日	1名
日本トイレ研究所「能登半島地震トイレ調査報告会」	6月28日	1名
	5月22日	1名

講習・研修などの名称	訓練日	当会からの参加人数
東京都下水道局・日本トイレ研究所「下水道フォーラム」	8月1日	1名
日本防災士機構「防災士フォローアップ研修～巨大災害に備える～」	4月13日	1名
日本防災士機構「防災士フォローアップ研修～福祉防災～」	8月3日	1名
日本防災士会「防災士スキルアップ研修～地球温暖化と自然変動～」	9月28日	1名
日本防災士会「防災士スキルアップ研修～能登半島地震では過去の災害の経験と教訓が災害ケースマネジメントに活かされたのか～」	7月14日	1名
日本防災士会「防災士スキルアップ研修～学校防災の今を知ろう～」	5月25日	1名
日本防災士会「防災士スキルアップ研修～淡路大震災から30年 あの時の課題は解決されているか～」	2月16日	1名
日本防災士会「地区防災計画 第3回スキルアップ研修〔始動編〕」	12月14日	1名
日本防災士会「東日本大震災風化防止シンポジウム2025」	3月2日	1名
日本赤十字社神奈川県支部「赤十字幼児安全法支援員講習」	6月23日	1名
	6月22日	1名
日本赤十字社神奈川県支部「赤十字防災ボランティア地区リーダー養成研修」	3月15日	2名
	3月16日	2名
JUIDA「ドローン防災スペシャリスト教育」	1月31日	1名
NHK厚生文化事業団「わが町のインクルーシブ防災ワークショップ」	2月13日	2名
SEKIDO「DJI産業用ドローン インフラ点検・災害救助実演セミナー」	9月13日	1名
京都大学「市民防災講座～自然災害に備える～」	7月18日	1名
	12月25日	1名
ジャパンプラットフォーム「JPFウェビナー」	10月21日	1名
葉山町「令和6年度葉山町防災講演会」	3月9日	7名
葉山町・葉山の森保全センター「長柄エリア樹木防災まち歩き！」	2月8日	5名
葉山町町議会「町制施行100周年記念講演会～気候変動と100年後の葉山～」	11月23日	8名
横浜市「「よこはま防災研修 事例発表会」	2月1日	1名
逗子市社会福祉協議会「災害ボランティアセンター運営スタッフ育成講座」	2月21日	1名
三浦市ボランティア連絡協議会「防災講座」運営支援	8月22日	1名（スタッフ）
そなエリア東京「東京直下72h TOUR」	8月1日	1名
日本笑顔プロジェクト「小型車両系建設機械（整地等）運転業務特別教育」実技教習・検定 ※学科教習はオンラインで事前受講	7月19日	2名
日本笑顔プロジェクト「小型車両系建設機械（解体用）運転業務特別教育」実技教習・検定 ※学科教習はオンラインで事前受講	9月29日	1名
レスキューナウ「RESCUE NOW ウェビナー～地震・津波・台風からの帰宅困難者対策～」	7月26日	1名
レスキューナウ「RESCUE NOW ウェビナー～本当に“実践的”な防災訓練とは～」	9月6日	1名
防災教育普及協会「防災教育指導者育成セミナー」	6月15日	1名
消防防災科学センター「防災啓発中央研修会〔前期〕」	7月3日	1名
神奈川工科大学「能登半島地震緊急報告会」	7月5日	1名
地区防災計画学会「能登半島地震を踏まえた地区防災計画」	7月27日	1名
防災学術連携体「防災学術連携速報会」	9月23日	1名

別添資料ここまで